

第12回総合アレルギー講習会 実習詳細

実践皮膚テスト：プリック・スクラッチテスト、パッチテスト

1.目標：この実習に参加して、

皮膚テストを実践できる医師になろう！

2.コンテンツ：この実習の内容は・・・

- 👍 本実習では、半日でプリックテストとパッチテスト両方の実技を学べます。
- 👍 皮膚テスト（プリックテスト・スクラッチテスト及びパッチテスト）の意義を講義し、実際に皮膚テストを行います。実習では、タスクフォースとして日常診療で皮膚テストを日々行っている専門医が実習でわからない点や細かい疑問点にその場でお答えします。
- 👍 皮膚テストをこれから始める先生、手技を定着させたいと思っている先生、ぜひ、ご参加ください！



実技：

「プリックテスト」

- ・固形物の調製：ナッツや薬剤に応用できるように固形物をすりつぶして調製します。
- ・プリックテストの実施と判定：果物、陽性コントロール（ヒスタミン二塩酸塩（鳥居薬品））、陰性コントロールなどをご自身の前腕に実際にプリックテストを行い、判定します。

「パッチテスト」

- ・持参品の調製：パッチテストに際して、希釈が必要な洗浄剤の調整をします。
- ・パッチテストの実施：試薬や患者持参品などを用いて、背部の写真用紙に実際に貼付します。
- ・パッチテストの判定：パッチテストの反応を提示し、判定演習を行います。



* 講義、実技とも、今回はソーシャルディスタンスに配慮しスクール形式で実施いたします。

1. プリックテスト

- ①固形物を調製する。
(薬剤やナッツ類などに応用できる)



- ②プリックテストを行う。



- ③反応を判定する。

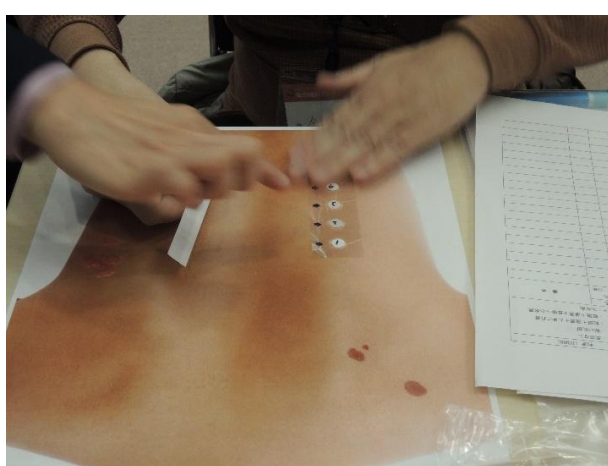


2. パッチテスト

- ①洗浄剤を調製する。
(他の日用品などに応用できる)



- ②試料を貼付する。



- ③反応を判定する。
判定演習もあります。



とてもわかりやすかったです。
明日からの診療で試してみよう
と思いました

パッチテストやプリックテスト
を実践できて良かったです

自身を被験者として流れを体験
できて良かったです

楽しく勉強出来ました。ありが
とうございました

教えていただきながら実践でき
てとても良かったです

これまでに本実習に参加された先生方のご感想



VOICE



自分のプリックテストが強すぎる
ことが分かって愕然としました。
明日からすぐできるような
気持ちになる素晴らしい実習で
した

日常診療に活用出来ればと思い
参加させて頂きました。手技や
基本的な考えを理解出来たと思
います

希釈系列を実際に作成するプロ
セスを体験でき、苦手意識を軽
減する事が出来ました

実際の検査器具や試薬を使うこ
とで、検査の手法をしっかりと理
解することができました。とて
も勉強になる実習でした

実際に行ってはいなかったので、
今後行っていいと思いました